

あ
お
ば
だ
よ
り

Vol. 40
情報管理広報委員会

第3回目の“病院機能評価受審終える”

去る7月30、31日の2日間に渡り、病院機能評価の更新審査（精神科 3rdG：Ver.2.0）が行われました。医療従事者であれば耳にする言葉だと思いますが、簡単に説明すると、医療の質と安全の向上を目的とし、一定の基準に基づき、中立的な立場から、受審を希望した医療施設に限り第三者評価機関が評価することを指します。

当院も平成20年に初回受審、平成25年の更新審査を経て、今回で第3回目の受審（更新審査）を迎えた次第でした。評価調査者は事務・看護・診療の3名で構成され、チームに別れて面接・ケアプロセス調査・部署訪問等、病院隅々まで、みっちり調査並びに、評価をして頂きました。

お陰様で9月末に入手した中間的な結果報告では“地域に向けて医療に関する教育・啓発活動”に関する点では、最高評価のS評価を頂く等、当院の総院長を中心に2013年から行っている宇城市認知症地域連携懇話会等が評価されたのは本当に嬉しい限りです。一部で実態と異なる疑義があったものの、11月頃には最終的な審査結果報告書が届く予定となっております。



今後も継続管理はもとより、新たに設けられた要求事項の運用等、5年後の更新審査へ向けて全職員が一丸となり、医療の質・安全を念頭に、取り組んでまいりたいと思います。

〈総務課：河野 功〉

宇城認知症地域連携懇話会 開催される

去る平成30年9月28日、宇土市民会館にて宇城認知症地域連携懇話会 学術講演会による特別講演と事例検討会が行われました。金曜日の夕方みなさんお仕事終わりにも関わらずたくさんの方々にご参加いただきました。

特別講演では、福岡県立大学の上野行良先生を講師にお迎えし、「認知症援助者のストレス・コントロール」についてご講演頂きました。講演では、ストレスについての正しい理解や対処方法など、身近な出来事をもとにお話を頂きました。プロの芸人さんを思わせる様なしゃべりと身振りに会場は笑いあいの盛り上がりとなりました。また、ストレスを対処するには「寝なければ何してもムダ」「6時間以上の睡眠時間が必要」とのことで、私自身も睡眠の質について改めて考えさせられました。



事例検討では、小規模多機能ホームうと本町の職員さんより「夫婦らしくここで暮らしていきたい～小規模のメリットを活かして～」というテーマでお話をいただきました。多様な介護サービスがある中で、認知症の方ができる限り住み慣れた地域で生活続けることができる様に、小規模多機能の特徴である、通い・訪問・宿泊の柔軟なサービスを組み合わせながら同じ事業所で顔見知りのスタッフのサービスを受けることができることは、その方やご家族・地域の方にとっても頼れる存在であると感じました。

関係機関の職員のみなさまご参加いただきありがとうございました。

〈精神保健福祉士：宮崎 梢子〉

あおば病院 “納涼祭” 開催される

去る8月31日、毎年恒例のあおば病院、納涼祭が開催されました。当日の天気は弱雨マークでしたが、患者さんの期待に押される様に雨も上がり理事長挨拶で納涼祭がスタートしました。納涼祭では初めてのプログラムとなった夏の風物詩『盆踊り』。炭坑節やおてもやんサンバの曲に合わせ職員、患者さんが大きな円をつくり、会場全体が一体感に包まれました。そして患者さんによるカラオケ大会。今年は8名の出場者がおられ、みなさん自慢の持ち歌を披露していた



いただきました。館内での催し物終了後は、アイスクリームを堪能しラストはみなさんお待ちかねの手持ち花火で、夏の終わりを惜しみながら、小さな灯りがともりました。今回、納涼祭の司会という形で携わり、不安と緊張でいっぱいでしたが、たくさんの方々のご協力ご支援のもと無事滞りなく進行することができました。

また、私自身も平成最後の夏を締めくくる良き思い出となりました。

〈診療連携科：宮崎 梢子〉

お知らせのご案内

- あおば病院 文化祭 “あおば祭”
10月27日（土） 10:00～15:30 会場：あおば病院

昨年引き続き “むたゆうじさん” 他
お祭り仲間参上！！



村上美香さん



ビエントさん



大海カツ絵さん

- 認知症市民フォーラム in うき 2018
10月13日（土） 12:20～15:00
会場：宇城市小川総合文化センター ラポート

お時間があられる方は、是非上記会場へお越し下さいませ。お待ちしております！

ペ ッ ト 紹 介

ねこの “ ミーちゃん ” の紹介です。

この猫、何と！職員の車のエンジンルーム内で発見されました！

経緯は、現飼い主である職員が当直業務の際、窓の外から、かすかな猫の鳴き声を耳にし、鳴き声を便りに付近を幾度となく搜索するも発見には至らず・・・
それもそのはず、鳴き声の先は何と！車のエンジンルームだったからでした。

車の持ち主の許可を得てエンジンルーム内の搜索にあたるも発見出来ず、最終的にJAFを呼びエンジン部から発見！2日間に渡る救出劇だったそうです。生まれたばかりの子猫だった事もあり、当時は手のひらに納まるサイズだったとか。

どこで？どこから？どうやって侵入したのか・・・？

しかし、救出後がまたまた大変！引取り者は？ 当然簡単に見つかるはずもなく何と、何と発見者の職員が引き取る事に・・・

背景には、発見者が長年可愛がっていた猫を亡くした直後で、傷心の最中に起きた出来事で、発見、救出、引取りに至る迄の経緯と言い、メディアに取り上げてても良い位の心温まるエピソードです。 アンビリバーボー！

現在もご覧の通り、スクスクと成長しているそうです。



病院理念

- 「ひと」 その人らしさを大切に
- 「こころ」 こころのリハビリを通して
- 「和」 地域に和をひろげます

基本方針

- 一、人権の尊厳 こころを病む方々の「ひと」としての尊厳を何よりも尊重し、患者さんやご家族に、やさしさと思いやりの心で接します
- 一、人間的成熟 医療にかかわるプロとしての自覚と誇りを忘れず人間的成熟を目指し、たゆまぬ努力を続けます
- 一、チーム医療 全ての職種の職員は、それぞれの専門性と役割を果たすと共に互いに連携し合い、より質の高い医療サービスを提供します
- 一、地域社会との連携 地域との情報交換を密にし、予防と安らぎの場を提供しながら、社会復帰を通じた生活活動支援に積極的に取り組みます

病院所在地 & アクセスマップ



医療法人社団 明心会

あおば病院

精神科・心療内科・内科

〒869-0513

熊本県宇城市松橋町萩尾2037番地1

TEL : 0964-32-7772

FAX : 0964-32-7333

E-mail : aoba2120@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://www.aoba-hospital.jp>